

都城市・三股町在宅医療・介護連携推進協議会

多職種連携に関するアンケート調査結果報告

# ○調査概要

目的

現場に連絡ツールを中心とした連携の実態を知る  
ICTに関する興味関心、潜在的なニーズを探る

調査方法

都城・三股町に従事している医療介護者を対象とした  
紙面によるアンケート（無記名）

調査対象者

都城・三股町に従事している医療介護者  
令和元年度 地区別地域ケア会議出席者

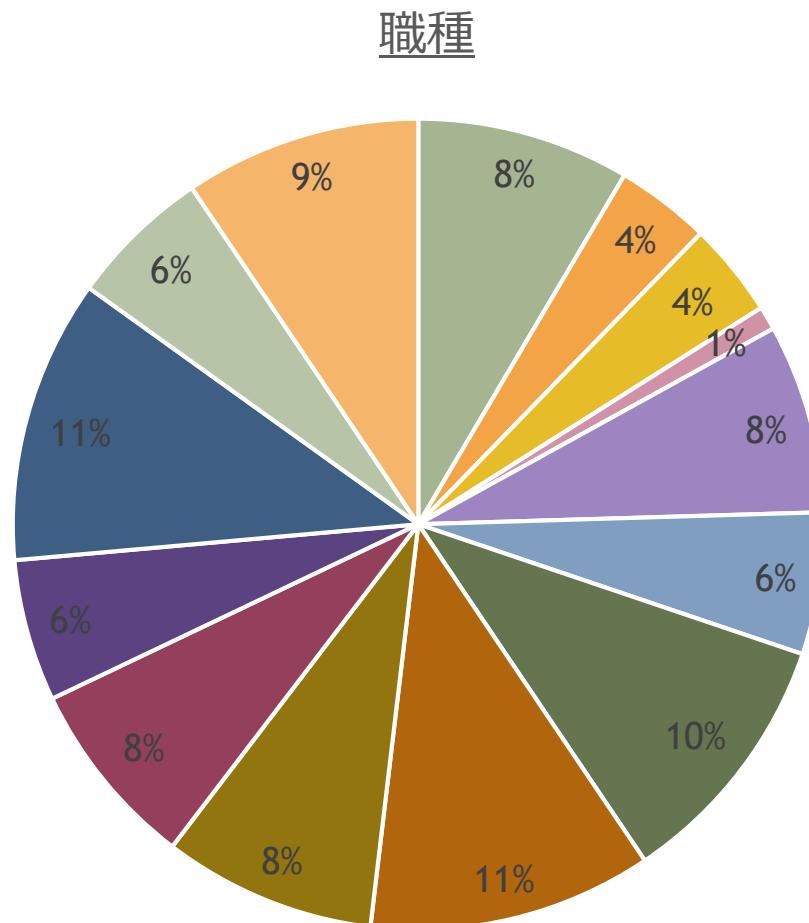
調査期間

令和2年1月27日 ~ 令和2年2月20日

有効回答数

110名

## ○回答者の内訳



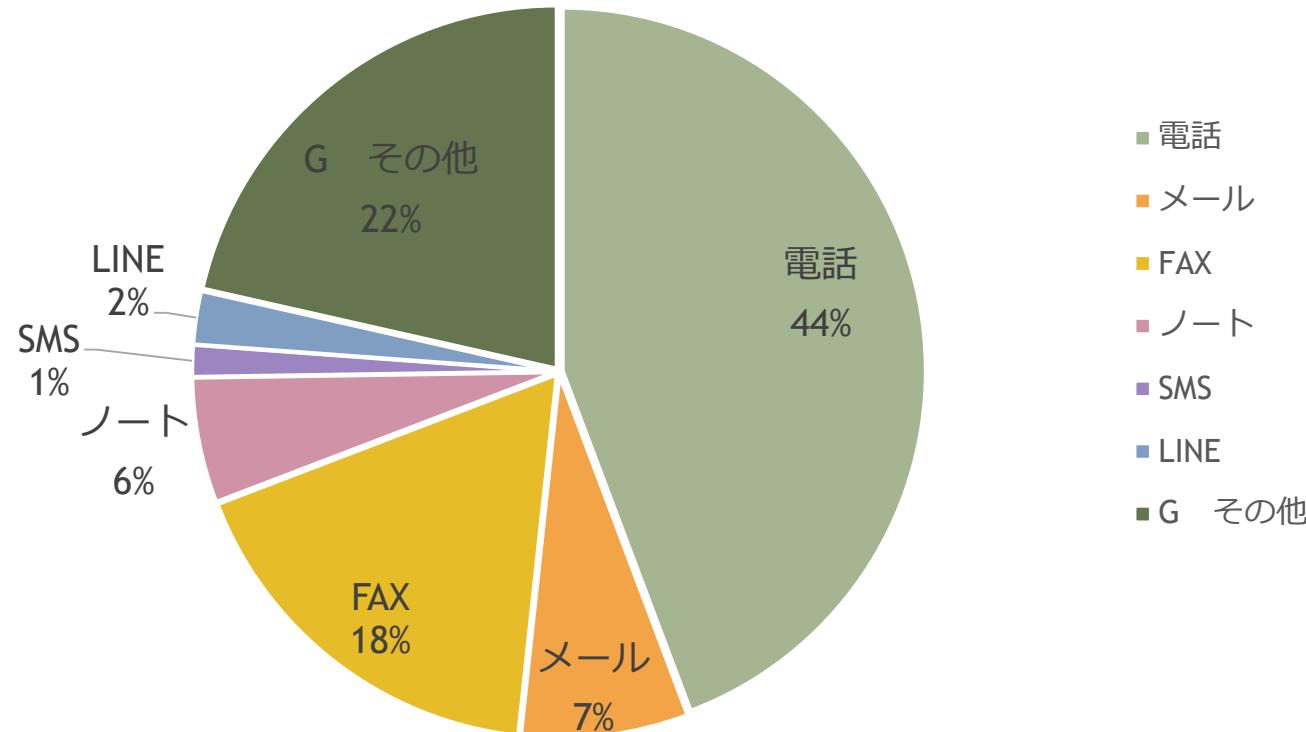
n = 110

- 医師
- 歯科医師
- 薬剤師
- 保健師
- 看護師
- 訪問看護師
- PT
- OT・ST
- 栄養士
- MSW
- 歯科衛生士
- CM
- 介護福祉士
- 地域包括支援センター

## ○使用している連絡ツール

- ・電話が最も多く44%、次いでFAX (18%)、メール (7%)
- ・LINEなどのSNS (ソーシャルネットワーキングサービス) も利用されている

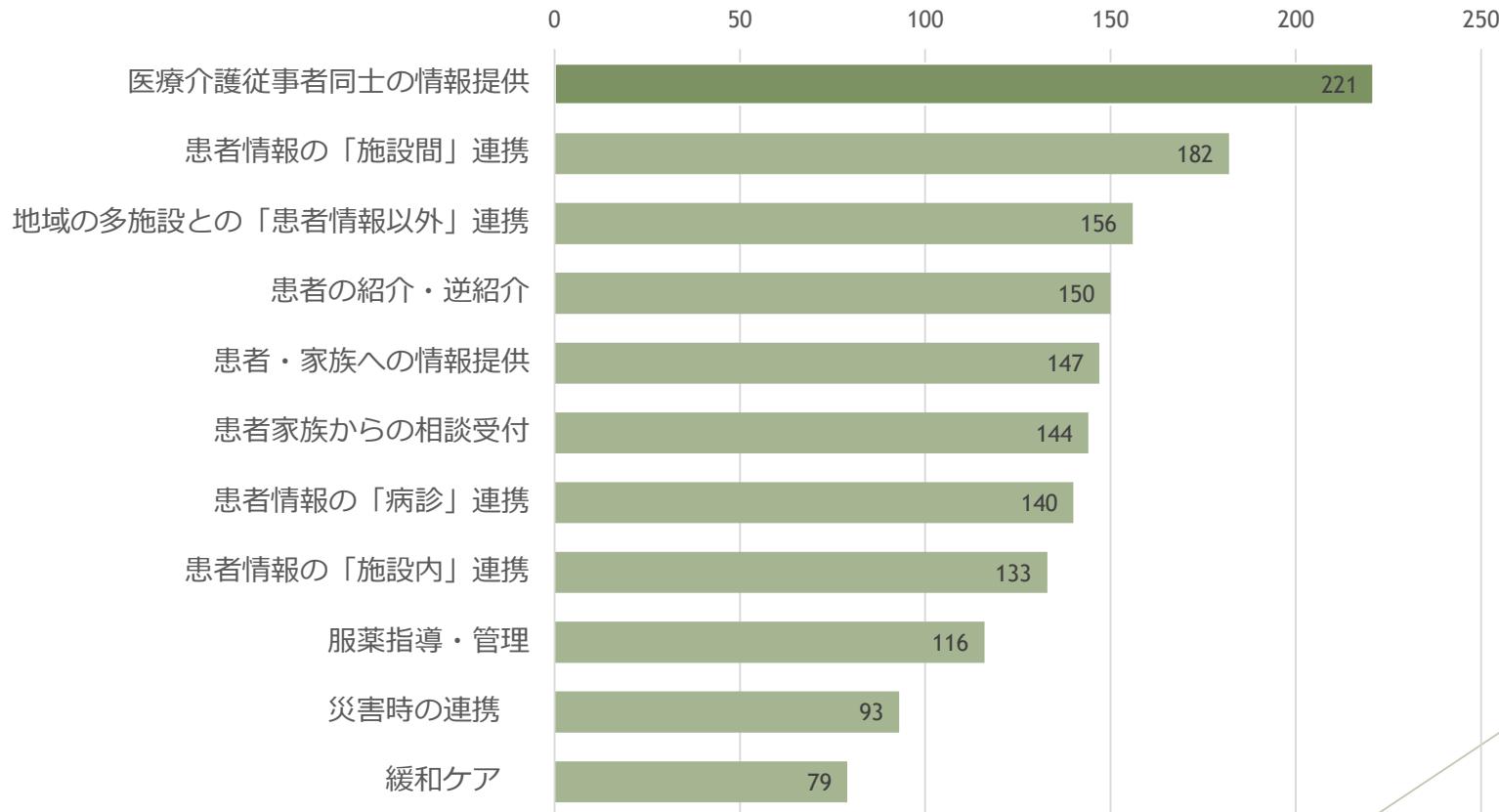
連絡ツールは何を使っていますか？



# ○情報交換の内容

- ・「医療介護従事者同士の情報提供」が最も多い
- ・さらに内訳を見ると、医療機関や福祉施設内配属者では「施設内」での連携が多く、在宅に伺う配属者では「施設間」での連携が多い

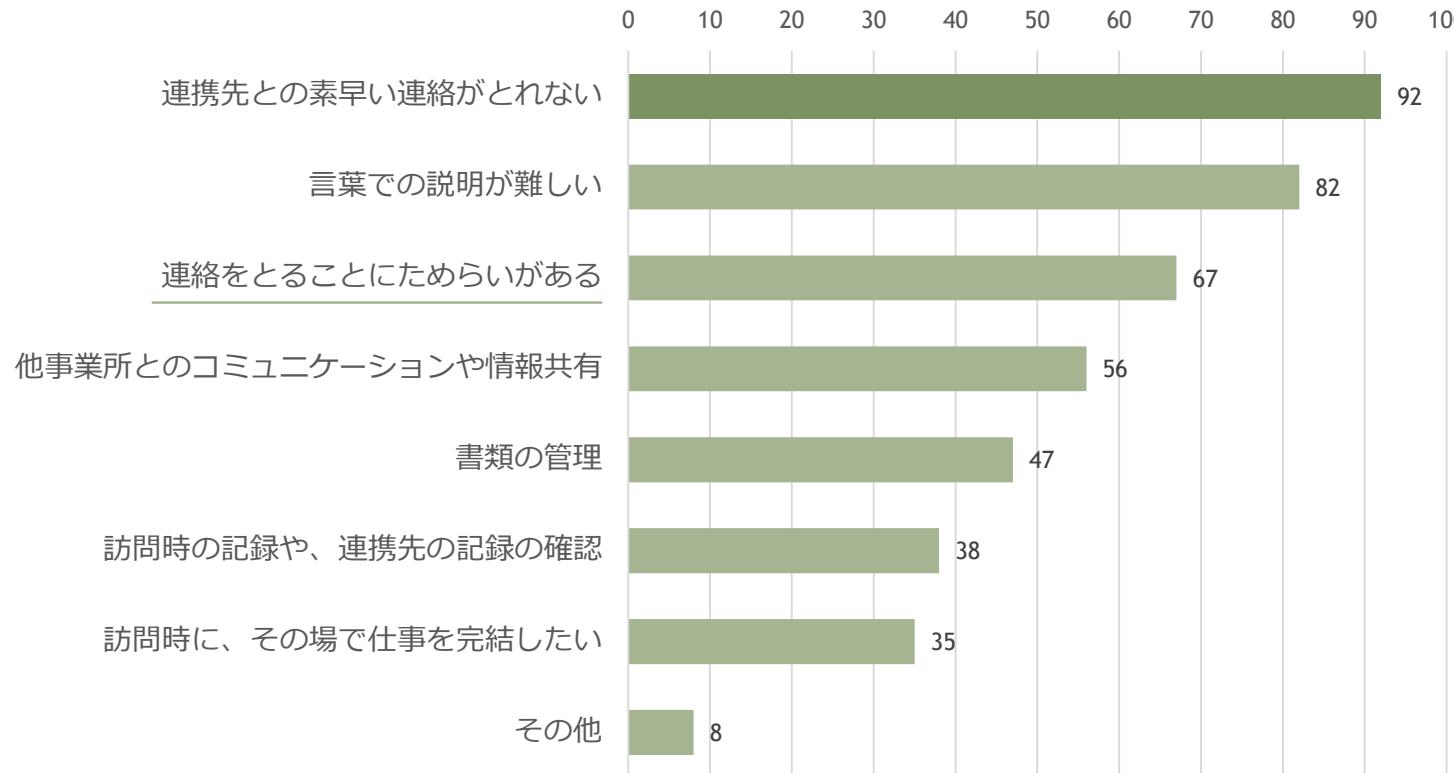
どのような情報交換をしていますか？



## ○情報交換における検討課題①

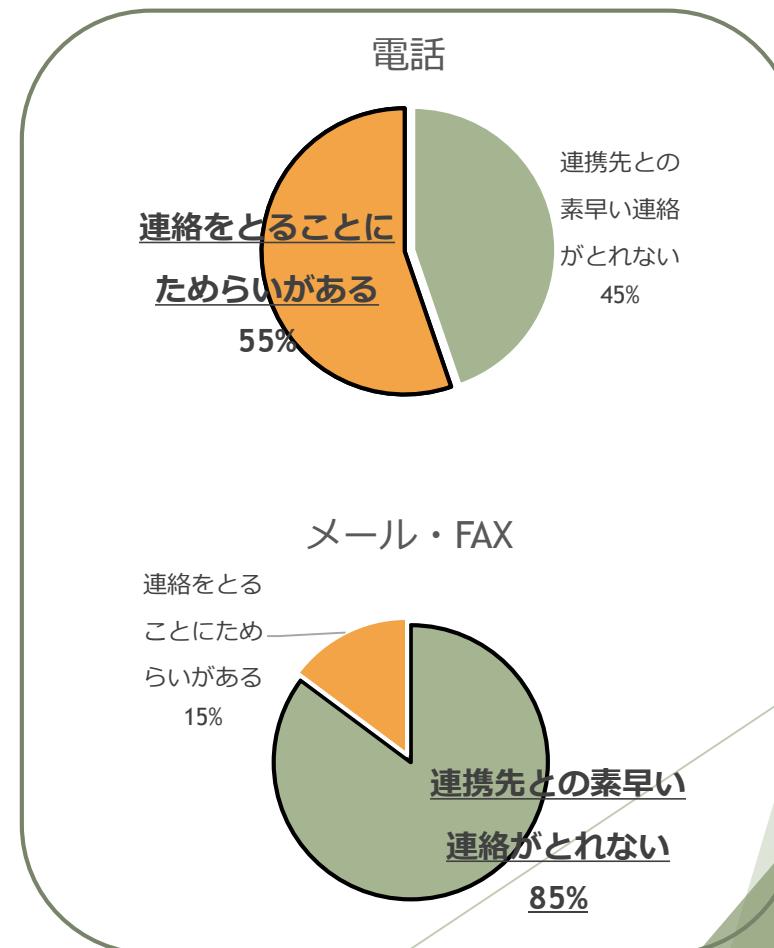
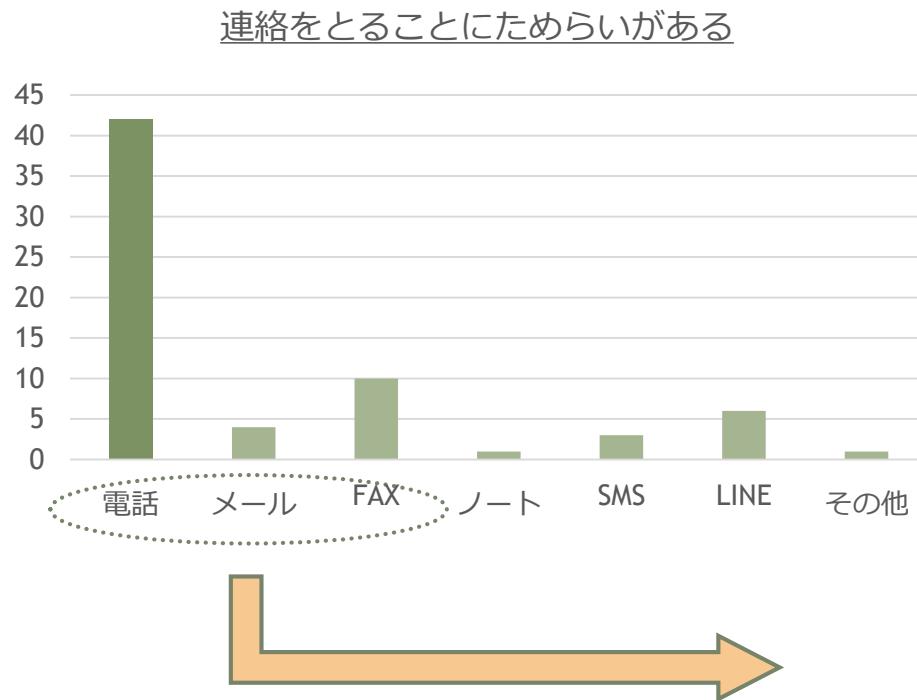
- ・「連携先との素早い連絡が取れない」との意見が最も多い
- ・「連絡をとること自体にためらいを感じている」との意見も少くない

情報交換で困っていることは？



# ○情報交換における検討課題①

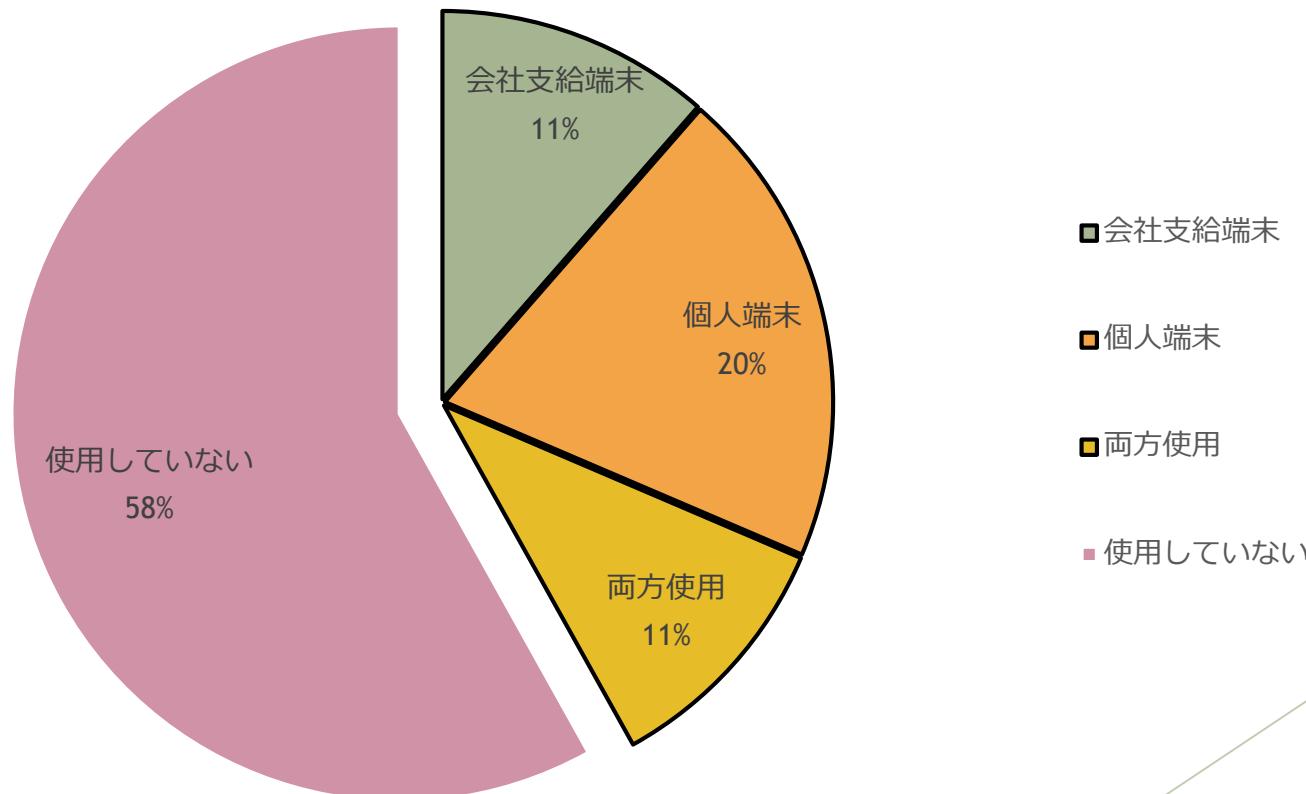
- ・連絡をとることにためらいを感じているのは「電話」が最も多い
- ・「メール」「FAX」では「ためらう」ことが少ない反面、「素早い連絡がとれない」と感じている人が多い



## ○情報端末について①

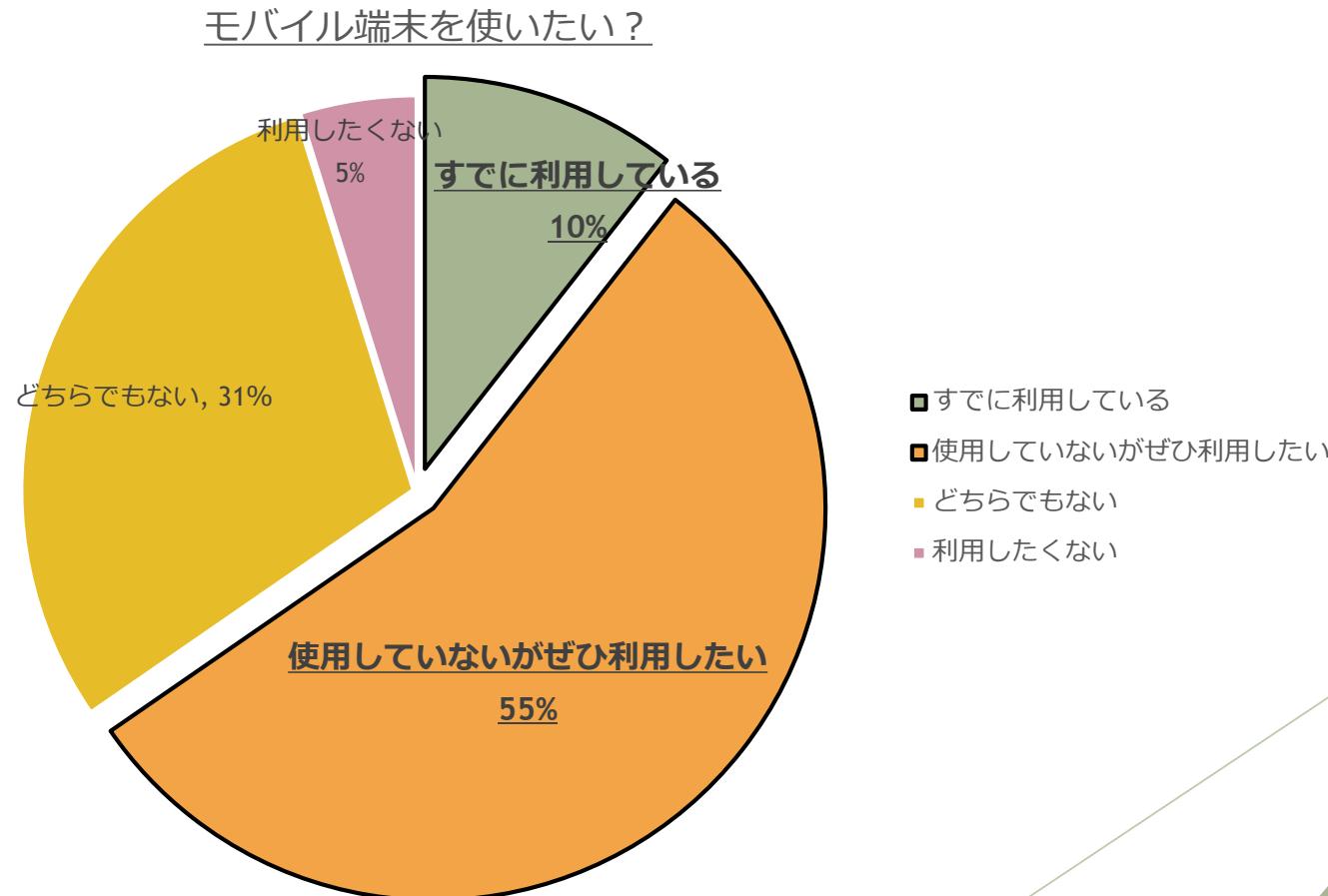
- ・情報端末を使用している 42%
- ・回答者の内、個人端末を利用 31%

現在使用している端末は？



## ○情報端末について②

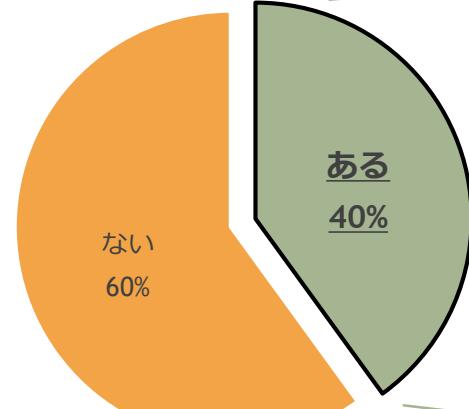
- ・モバイル端末（スマホ・タブレットなどの小型情報機器）を「すでに利用している」 10%
- ・モバイル端末を「利用したい」 55%



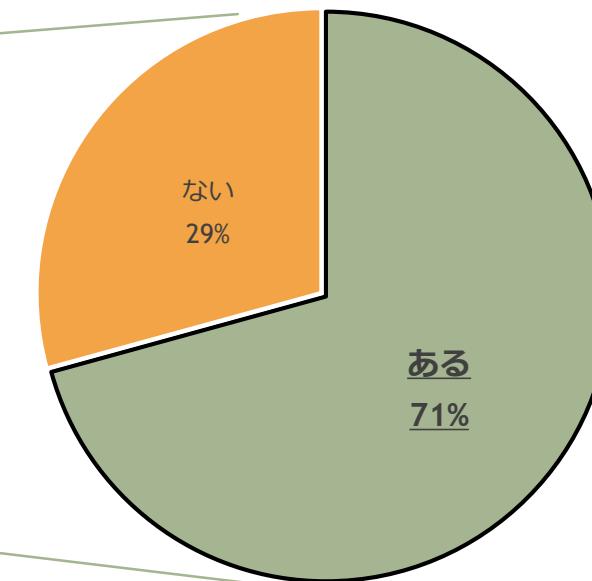
## ○個人情報管理①

- ・利用者情報のやり取りを「行っている」 40%
- ・その中で「やり取りに不安を感じている」 71%

利用者情報のやり取りは？



利用者情報のやり取りに不安は？



## ○個人情報管理②（セキュリティについて）

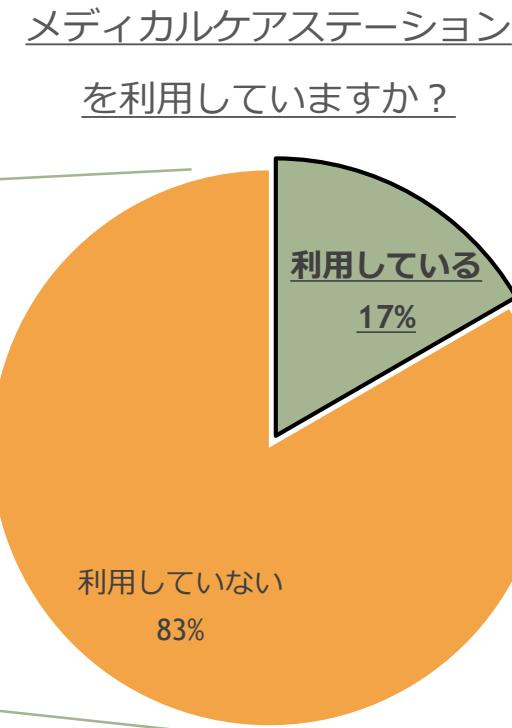
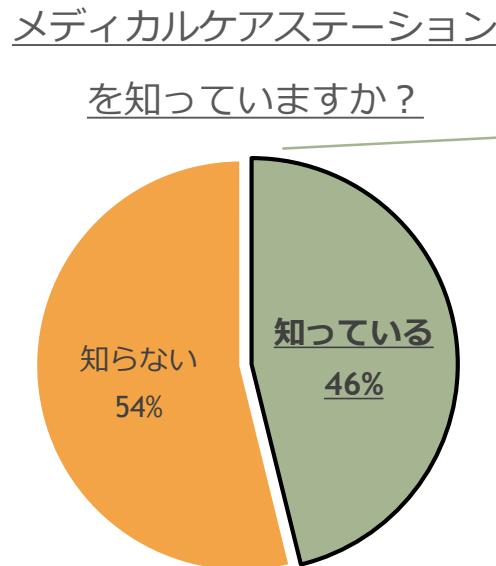
### どのようなセキュリティ対策を行っていますか？

- ・所属団体案内のSNSを使用するようにしている
- ・社内研修に参加している
- ・社内規定の定めに従っている（USB等を含む情報の持ち出し禁止など）
- ・ログインIDやパスワードを使用
- ・セキュリティ対策ソフトを使用
- ・インターネットの切断された環境で、情報を取り扱っている

- ・各個人の判断に委ねられている
- ・特に行っていない

## ○メディカルステーション (MCS) について

- ・メディカルステーションを「知っている」 46%
- ・その中で「利用している」 17%



## ○メディカルケアステーション (MCS) について

- ・メディカルケアステーションについて、「高い関心」があることが伺える

メディカルケアステーション (MCS)

に関心がありますか？

